

厚真高校教育振興会

設立の経緯

町立高校として誕生した厚真高校は、地元教育機関の拠点として、地域を担う有為な人材を数多く輩出してきました。卒業生は町の発展に大きく貢献するとともに、道内外で活躍しております。道立移管後の現在においても、生徒、教職員の町内行事への参加や福祉に関わるボランティア活動が継続され、高校の存在は町の人々や経済に活力を与え、街づくりにも大きな役割を果たしています。

平成5年度からは全学年1クラスの高校になりました。過疎化・少子化の影響もあり、入学者が減少傾向にあったなか、平成12年12月、町及び町教育委員会、厚真高校PTA・同窓会関係者により、学校の維持・存続を図り、地域に根ざした特色ある教育活動を支援するために「北海道厚真高等学校教育振興会」が設立されました。

振興会の設立により、平成13年度から遠距離通学者に対する通学費用の補助、各種資格取得検定料の補助等の支援が行われ、厚真高校における教育活動の活性化が図られています。

支援の内容

- 通学費の補助
 - 公共交通機関（列車・バス）を利用する通学生の通学費用を5分の4助成
 - 片道6km以上から通学する町内通学生に年額16,000円（上限）援助
- 下宿費用の2分の1助成
- 部活動生徒には、上記助成に加えて、JRへの乗継ぎなく帰宅できるあつまバス苫小牧行片道定期券代（JR早来駅前から沼ノ端、苫小牧方面）を5分の4助成
- 各種資格取得の検定料を4分の3助成
- その他
 - 町スクールバス路線に居住する町内生徒のスクールバス利用
 - 部活動遠征時、大学・企業見学時のバス借上げに対する支援
 - スキー体験学習でのインストラクター招へいに対する支援
 - キャリア形成を目的とした外部講師の派遣に対する支援
 - 福祉に関する授業（手話・点字）の外部講師謝礼等に対する支援
 - 学校環境整備（花壇づくり）に対する支援
 - 地域行事（田舎まつり）の参加に対する支援 など